

国名(日本語)	セントビンセント及びグレナディーン諸島
国名(英語)	Saint Vincent and the Grenadines



国名の由来	主島のセントビンセント島とその南側の約600の島々からなるグレナディーン諸島の名を合わせたもの。前者はコロンブスが来航した1498年1月22日「聖ビンセンチオの日」にちなんで名付けられ、後者はスペイン語のgranadino「ザクロ」の英語読みで、この諸島で多く見られるパッションフルーツの実がザクロと似ていたため。15世紀末のコロンブス来航後、イギリスとフランスの争奪戦を経て、1783年イギリス領が確定。その後、イギリス領西インド諸島連邦を結成。1979年イギリス連邦の一員として独立。
国旗の由来	中央の3つの菱形は「アンチルの宝石」とも呼ばれ、島名の由来となった聖ビンセンチオの頭文字Vを表すと同時に、約600の島々を表す。また、青はカリブ海と空を、黄は太陽と砂浜を、緑は農産物と国民の活力を表す。
1 面積	390平方キロメートル(五島列島の福江島とほぼ同じ)
2 人口	10.9万人(2014年 世界銀行)
3 首都	キングスタウン
4 言語	英語(公用語)、フランス語系パトワ語
5 宗教	キリスト教(英国国教会、プロテスタント、カトリック等)等
6 豆知識	テニス界では、「伝説のラケット」製造の地として知られる。1984年から1990年頃まで、ウィルソン社の工場で作られていた「プロスタッフ・ミッド」というラケットは、クリス・エバートやステファン・エドバーク、ピート・サンプラスら一流選手が愛用していた。